

# 当病院は「慢性心不全高齢患者の膀胱留置カテーテルの 留置日数と排尿行動との関連」を検討する後ろ向き研究を行っています

## 【研究の意義・目的】

慢性心不全高齢患者は、入院前から生活機能に障害を併せ持っていることが多いため、入院後に膀胱留置カテーテルを留置することで今後の生活の自立や QOL（生活の質）を阻害する問題とならないように個々の患者の排泄行動に着目することが必要となります。

これまでに慢性心不全高齢者の膀胱留置カテーテルの留置日数と膀胱留置カテーテル抜去後の排尿行動に関連した研究は見当たらず、本研究に取り組むことで、膀胱留置カテーテル留置抜去後の排尿の自立に向けた援助方法を検討するための基礎資料が得られ、今後の臨床看護の発展に繋がる可能性があります。

## 【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院において 2015 年 4 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日の間に、膀胱留置カテーテルを留置した慢性心不全高齢患者を対象としています。

ご提供いただく情報は、性別、年齢、病名、入院日、退院日、入院日数、膀胱留置カテーテル留置日数、自尿の有無、尿意の有無、座位保持の程度、移乗の程度、衣服の脱衣の程度、オムツの有無です。通常の診療の範囲内で得られた情報を研究対象としますので、患者さんに新たな身体的及び経済的負担が生じることはありません。

なお、この研究は福岡県立大学大学院と当院看護部が共同で実施し、研究責任者は福岡県立大学大学院 看護学研究科 森川 佳子 です。

## 【個人情報の管理について】

個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報は削除した上で、厳重に管理を行い、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の結果の公表（学会や論文等）の際にも個人が特定できる情報は一切含まれません。この研究に関わる記録・資料は研究終了後5年間保存した後、適切に破棄いたします。

## 【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為にを行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

## 【連絡・問い合わせ先】

この研究に関する相談やお問い合わせ（研究資料の入手方法を含む。）、またはご自身の診療情報につき開示または訂正のご希望がある場合は、下記連絡先までご連絡ください。

なお、この研究の対象者となることを希望されない場合は、お申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

小倉記念病院 看護部

担当者 里田 佳代子

〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号

電話 093-511-2000（代）